

ビジネスパートナーとともに

朝日工業社は、施工や機器製造の場でご協力いただく取引先をビジネスにおけるパートナーと位置づけ、健全かつ透明な関係づくりを心掛け、取引先への教育、安全衛生活動など、さまざまな取組みを通して共存共栄を目指しています。

設備工事事業における取組み

安全衛生活動の推進

業務に従事する全ての関係者の職場における労働災害の防止と健康の保持・増進を目的として、毎期定める「安全衛生活動方針」に基づき、安全衛生に関する管理の徹底と教育の充実に努めています。

当社の取引先で組織している朝日工業社安全衛生協力会は、当社の本社に設置している本部と、事業所ごとに設置している10の支部で構成されており、以下のような事業を通して、当社と会員相互間の連携を緊密に保ち、協力して安全衛生活動の推進と災害発生の未然防止を図っています。

- ① 安全衛生協力会、事業主および職長による
自主安全パトロールの実施
- ② 安全衛生関連情報の発信
- ③ 安全衛生協力会会員の相互扶助 等

取引先への教育

取引先の能力や安全意識の維持・向上を図るため、次のような教育を本社、事業店で計画的に実施しています。

- ① 取引先経営トップの
安全意識の高揚を図る
「協力会事業主研修」

825社 994人
2018年度実績

- ② 取引先の社員等の
能力の維持・向上のための
「職長教育・特別教育」等

393社 957人
2018年度実績

また、朝日工業社安全衛生協力会主催の安全大会などを通じて、社会保険に未加入の取引先に対する加入指導や建設業法に関する教育も実施しています。

Voice 安全表彰を受けて

昨年度、九州支部は無災害を達成して、安全衛生優良支部表彰をいただき、また第一種無災害記録(1,042,700時間)も達成し、高須社長より直々に安全衛生特別優良支部表彰をいただきました。とても気が引き締まる思いであり、本当にありがとうございました。安全衛生協力会の目的である「会社と会員相互の連携を緊密に保ち、一致協力して安全衛生活動の向上を図り、災害発生を未然に防止する」を念頭に、新元号の下、気持ちも新たに、無事故、無災害を達成したいと思いますので、朝日工業社のご指導、会員各社様のご協力をよろしくお願ひいたします。



朝日工業社安全衛生協力会 九州支部長
株式会社 荒木板金工場 代表取締役社長
荒木 健司 様

機器製造販売事業における取組み

物づくりに大切なのはサプライヤーとの信頼関係

機器事業部は、2017年より第10.5世代FPD製造装置用チャンバを出荷しています。この世界最大クラスのチャンバの生産を継続するためには、部品調達や組立を請負っていただく各サプライヤー(協力会社)の協力が必要不可欠であり、品質の確保が重要となります。その取組みとして、当社社員がサプライヤー先に出向き、組立や品質管理などのレクチャーを行うとともに、サプライヤー先において定例品質会議を開催することで双方の意見交換を促し、信頼関係の構築を図っています。

これからもさらなる信頼関係を築き、サプライヤーとともに新しい物づくりに挑戦していきます。

